

- 1 単元名 椋鳩十の世界 このお話のここがおすすめ！！
～他にはない魅力的な場面を推せんしよう～

- 2 教材名 大造じいさんとがん（東京書籍5年下）
椋鳩十の作品（屋根うらのネコ，片耳の大シカ，きえたキツネ，ツルのおどり，栗野岳の主）

3 目標

- 読書への興味をもち、自分が推薦しようと考えた理由を明らかにするために、進んでいるいろいろな本を比べながら読もうとする。（国語への関心・意欲・態度）
- 自分が推薦しようと考えた理由を明らかにするために、複数の本や文章を選んで比べて読むことができる。（読むこと）
- 言葉の正しさや美しさをとらえたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読むことができる。（1）－イー－（カ）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

4 単元について

（1）単元を貫く言語活動とその特徴について

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項の中から、特に「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」を取り上げて指導することをねらいとした。その際、言語活動例に示す「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。」を通して、指導の効果を高めようと考えた。

言語活動例エに示す言語活動例を「椋鳩十の作品の中から、友達に推薦したい物語を選び、本のショーウィンドウを作って交流する。」として具体化することにした。本のショーウィンドウには、登場人物の紹介とあらすじ、推薦する理由を書くようにする。推薦する理由を考える視点として、①登場人物の心情の変化、②情景描写、③椋鳩十の動物や人間に対する考え方、④自然に生きる動物たちの姿・知恵を取り上げ、これらのうちから一つ選んで自分の考えを書くことによって、本単元で児童に付けたい力である「自分が推薦する理由を明らかにするために、複数の本や文章を選んで比べて読む力」を付けたいと考える。

（2）単元設定の意図

児童は、4年生の時に「家族やふるさとを思う心を描いた本」を読み、読書発表会を行った。目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む活動は経験してきている。高学年では、更に目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読む活動をする。児童は、これまで、複数ある本や文章を視点を基に比べて読む活動は行っていない。

上記のような児童の実態から、本単元では、教科書教材「大造じいさんとがん」の作者である椋鳩十の作品を読み広げていきたい。複数の視点（登場人物の心情の変化、情景描写、椋鳩十の動物や人間に対する考え方、自然に生きる動物たちの姿・知恵）を基に、五つの椋鳩十の物語を比べて読み、友達に推薦したい魅力的な場面を選び、「本のショーウィンドウ」を活用して推薦の文章を書き、友達と交流するという言語活動を展開する。教科書教材だけでなく、学校図書館を利用し、他の椋鳩十作品にも触れ、推薦する文章を書くことで、目的に応じて複数の本や文章を選んで比べて読む力を付けることができると考える。

指導にあたっては、まず第1次で、教師が作成した「大造じいさんとがん」のショーウィンドウを紹介したり、椋鳩十の作品についてブックトークをしたりすることを通して、作品や作者について興味を高めたい。また、椋鳩十の五つの作品について並行読書をしていくことも伝える。第2次では、教材文「大造じいさんとがん」を読んで、登場人物の紹介やあらすじ、推薦する理由を考えて、本のショーウィンドウ作りを行う。同時に、並行読書を行う中で、自分が推薦したい椋鳩十の作品を考えながら比べて読むようにし、第3次の学習へつなげたい。第3次では、第2次の教科書教材の学習を生かし、並行して読んだ椋鳩十の作品について本のショーウィンドウを作成して友達と交流する。以上のような単元を構想することを通して、「自分が推薦する理由を明らかにするために、複数の本や文章を選んで比べて読む力」を付けたい。

（3）単元づくりモデル・四つの手立て・言語活動アイテムについて

本単元では、拡大型単元モデル、手立て2、言語活動アイテムとして「本のショーウィンドウ」を活用して単元を構想することにした。第2次において、教科書教材文「大造じいさんとがん」を使って「推薦する」という言語活動について学び、視点に基づいて本のショーウィンドウを作る。その際、並行読書で読んだ作品の中から自分が推薦したい椋鳩十の作品を選び、同時にまとめていくようにする。第2次から第3次にかけては、徐々に比率をあげながら自分が推薦したい椋鳩十の作品のショーウィンドウ作りに時間をかけるよ

うにする。言語活動アイテムとして活用する本のショーウィンドウには、①登場人物の紹介②あらすじ③推薦する理由を書くようにする。特に、③の推薦する理由には、魅力的な場面を選ぶときの五つの視点（①登場人物の心情の変化、②情景描写、③椋鳩十の動物や人間に対する考え方、④自然に生きる動物たちの姿・知恵）を基に、他の作品と比べて読み、自分が最も心を打たれた視点を選んで、推薦する理由を書かせたい。これらを通して、本単元で付けたい力に迫り、思考力・判断力・表現力を育もうと考えた。

5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①読書への興味をもち、自分が推薦しようと考えた理由を明らかにするために、進んでいるいろいろな本を比べながら読もうとしている。 ②既習の学習経験を生かしながら、目的に応じた学習計画を立てようとしたり、学習活動全体について目的と照らした振り返りをしたりしようとしている。	③椋鳩十の作品を、視点を基に比べて読み、自分が最もすすめたい魅力的な場面について自分の考えをまとめている。	④言葉の正しさや美しさをとらえたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読んでいる。

6 指導および評価の計画（9時間取り扱い）

【拡大型・手立て2・本のショーウィンドウ】

次	時	学習活動・内容	評価規準【方法】
1 導入	1	<p>【「大造じいさんとがん」の物語にふれ、これからの学習の見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大造じいさんとがん」の物語を、本のショーウィンドウを使って紹介する。 ○これからの学習の見通しをもつ。 <p>・学習課題「本のショーウィンドウでおすすめの椋鳩十作品を推せんしよう。」を設定する。</p>	<p>②これまでの学習経験を思い出し学習課題を意識して、作品の中から読んでみたい作品を考えたり、学習計画を立てたりしようとしている。</p> <p>【ふり返りカード】</p>
2 習得	2 3 4 5	<p>【大造じいさんとがんを読み、本のショーウィンドウを作成する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大造じいさんとがん」を読み、「登場人物の紹介」や「あらすじ」「魅力的な場面」について視点を基に考える。 ○魅力的な場面についてグループで話し合う。 ○「大造じいさんとがん」の本のショーウィンドウを作る。 ○友達と本のショーウィンドウを交流する。 	<p>①自分が推薦したい椋鳩十の本を進んで選ぶようとしている。</p> <p>【ワークシート、ふり返りカード】</p> <p>③場面を比べて読み、自分にとって最も魅力的な場面について、推薦理由を明確にして本のショーウィンドウにまとめている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>④言葉の正しさや美しさを捉えたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読んでいる。</p> <p>【全文読み教科書】</p>
3 活用	6 ⑦ 8 9	<p>【椋鳩十の作品について本のショーウィンドウを作り、交流する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○椋鳩十の作品を比べて読み「登場人物の紹介」や「あらすじ」、「魅力的な場面」を視点を基に考える。 ○自分が推薦したい作品の推薦理由についてグループで交流する。 ○自分が推薦する作品の本のショーウィンドウを作る。 ○友達と本のショーウィンドウを交流する。 	<p>③椋鳩十作品を比べて読み、自分がすすめた作品について魅力的な場面とその理由をグループで交流している。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>③自分が選んだ椋鳩十の作品について、推薦理由を整理し、本のショーウィンドウにまとめている。</p> <p>【本のショーウィンドウ】</p>

並行読書（朝読書・第2次から第3次）

7 本時の学習

(1) 目標

自分が推薦したい椋鳩十の作品について、推薦する理由を友達と交流することを通して、推薦する理由を明確にすることができる。

(2) 準備

学習計画表、全文読みシート、ワークシート、椋鳩十作品（屋根うらのネコ、片耳の大シカ、きえたキツネ、ツルのおどり、栗野岳の主）

(3) 展開

【○補充的指導 ◎発展的指導 評価】

学習活動・内容	指導上の留意点・評価〔方法〕
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>椋鳩十作品の中から、自分が推薦したい物語の推せん理由を友達と交流し合い、自分の推せん理由をはっきりさせよう。</p> </div> <p>2 自分が薦める物語の推薦理由を交流し、自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 椋鳩十作品の中で自分が一番すすめたい物語の場面を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、きえたキツネという作品のきつねが狩人をうまくだます場面のことを推薦したい。 ・ぼくは、栗野岳の主という作品でイノシシが猟師に突進していく場面を推薦したい。 <p>(2) 推薦する理由について交流する。</p> <p>【推薦の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化 ・心が引きつけられた情景描写 ・鳩十の動物や人間に対する見方や考え方 ・自然の中で生きる動物の姿や知恵 <p>【予想される児童の推薦理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、母ぎつねが子ぎつねを守ろうとする親の愛を推薦理由にしたい。 ・ぼくは、母ぎつねとかりゅうどの知恵比べで、きつねがうまく人間をだましたことを推薦理由にしたい。 <p>(3) 友達の考えを聞いて、明確になった自分の推薦理由をワークシート（200字程度）にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシの勇敢さは家族を守るためのものであることがはっきりした。 ・私は、交流を通して人間との知恵比べに勝つきつねの子どもを守ろうとする親の愛情にしばって推薦理由にしたい。 <p>3 全体で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの話し合いを通して、明確になった自分の推薦理由を発表する。 <p>4 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・わたしは、推薦する理由がはっきりしなかったけれど、友達の推薦理由を聞いて、それをヒントに自分の推薦理由を自然の中で生きる動物の親の愛情としてはっきりさせることができた。</p> </div>	<p>・本時では、自分の選んだ椋鳩十作品を本のショーウィンドウで推薦するために、推薦する理由を友達と交流し、自分の推薦理由を明確にして、ワークシートにまとめていくことを確認する。</p> <p>・同じ作品を読んでいる者同士3人程度で交流し、意見交換を活発に行うことで、友達の考えを参考にしながら、自分の推薦する理由を明確にできるようにしたい。</p> <p>・グループでの交流を主体的に進めていけるよう（1）～（3）を各グループごとに時間を設定して進めていくこと、司会者を決め、時間や話し合いの中心になることを確認する。</p> <p>・自分の考えを相手に伝えるときは、理由も必ず言うことが大切であり、その際、作品の文章を見せ合って友達に自分の考えを伝えてもいいことを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎椋鳩十作品の中から、自分が推薦したい物語の推薦理由を友達と交流し合うことを通して、自分の推薦理由を明確にすることができる。 【ワークシート】</p> </div> <p>○理由がなかなか言えない児童には、選んだ物語で自分の心を引きつける言葉や文章はどよかったかを振り返るよう助言し、それを基に推薦する理由を明確にしていけるようにしたい。</p> <p>◎自分の考えが書けた児童には、発表の準備をするように伝える。友達と話し合うことで明確になった自分の考えを発表するように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合ったことをワークシートに記入する。 ・友達の意見を参考にして直すところがあれば直すことを伝える。 <p>・グループの話し合いを通して、明確になった自分の推薦理由を発表する。「始めは～思っていたが、〇〇さんの考えを聞いて～になりました。」「グループのみんなと話し合って、〇〇さんが僕も一緒だと言ってくれたので考えがはっきりしました。」等、答え方の例を複数提示する。</p> <p>・本時の学習で分かったことやできるようになったことについて書くことで、本時で付いた力を振り返れるようにしたい。</p>